

小牧市立としょかん 子ども郷土しりょう

きちごろうきつね
その3 吉五郎 狐

小牧には 狐の伝説がいろいろと伝わっていて、そのなかでも「吉五郎」の伝説は昔からよく知られています。

吉五郎は図書館の館外貸出券やホームページにもいるよ！

きちごろうでんせつ
◎吉五郎伝説

小牧山に、吉五郎という狐が住んでいました。子分は200匹もいて、この



地方の狐の親分でした。この吉五郎の伝説は、江戸時代につくられて広まりました。吉五郎がお梅という美女の狐をめぐって、東九郎という美男の狐と争うお話です。この伝説のもとになった本は見つかっていませんが、いくつかの話を合わせているようです。津田応助という人が、この話を

『伝説老狐小牧山吉五郎』という本にまとめて、現在に伝わっています。

◎あらすじ

東九郎の恋人お梅をうばった吉五郎は、やがて若いお初という狐も好きになります。恨んだお梅は東九郎と相談し、吉五郎を毒殺しようとしませんが、吉五郎に恩義のある天狗がその計画を知り、吉五郎に伝え、ばれてしまいます。怒った吉五郎はお梅・東九郎と決闘しますが、お梅に切りつけられ逃げ帰ります。仕返ししようとお梅の家をおそった時は、東九郎と逃げたあとでした。そんな騒動を起こした吉五郎も、その後はお初とおだやかに暮らしたそうです。

◎その後の吉五郎伝説

明治43年の冬、ある青年が吉五郎と思われる狐を銃でしとめました。

剥製にして自慢していたところ、伝え聞いたお初とその子四匹が、青年の家の雨戸をたたき、「せめて皮だけでも返してほしい」と頼んだということです。

◎吉五郎稲荷

小牧山の大手道（南側の登り口）を少しのぼったところに、吉五郎稲荷があります。これは昭和11年に、小牧山の吉五郎にちなんで建てられ、五穀豊穰、商売繁盛、子孫繁栄などのご利益があるとされています。



◎いたずらが大好きな吉五郎

吉五郎の得意技は、美しい女の人に化けることでした。村人のごちそうを取ったり、肥だめをお風呂とだましたり、葉っぱの切符で電車に乗ったり、いたずらばかりしていました。

<参考にした図書> 図書館でくわしく調べてみよう

- ・小牧市教育委員会『こまき昔話』（小牧叢書1）,AK388
- ・小牧市教育委員会『小牧のむかしむかし』（小牧叢書11）,AK388
- ・津田応助『伝説老狐小牧山吉五郎』,AK388

※この本は皆さんにはちょっとむずかしいけど、がんばって読んでみよう。

編集・発行 小牧市立図書館 平成24年3月1日

485-0041 小牧市小牧五丁目89番地

電話 0568-73-9951

